

①他部会との調整を要する意見

No.	区	区の将来像 or 区の特徴	委員の意見	事務局対応（案）
13	緑	区の特徴	<p>居住人口・交流人口も大事だが、市内で生活が完結できる人数も意識すべきであり、それを意識した働き方や新しい郊外ライフスタイルについて、市全体として記載があった方がよい</p>	<p>少子高齢化や技術革新に伴い、働き方も多様化してきており、それによる新しいライフスタイルについての視点は必要であると考えているが、新しいライフスタイルについては、あらゆる分野に関連するものであることから、第1部の「さいたま市の課題」に働き方の多様化の表現について記載することとしたい。</p>
21	全体	—	<p>自治会連合会の大きな課題として、加入率が低下し、60%という問題がある。特に駅周辺のマンション加入率が低い。安全なまちづくりでは自治会が機能していることが大切である。行政が力を入れて自治体加入を促進していく必要があるのではないかと。計画に一部分だけ形式的に記載するのではなく、具体的な所管で全庁的に取り組むということを明確に示してほしい。また、自治会加入促進について検討している部会等で発言できる機会がほしい。</p>	<p>全庁的に取り組む問題であるため、全庁的な取り組みを記載している分野別計画（コミュニティ・人権・多文化共生）に記載しており、具体的な取り組みについては実施計画に記載します。</p> <p>また、次期総合振興計画では、自治会を含むコミュニティの課題については、重点戦略として位置付けているため、重点的に取り組むことを明示します。</p>

さいたま市総合振興計画審議会第3部会の意見整理表

②他部会の審議事項に関連する意見

No.	区	区の将来像 or 区の特徴	委員の意見	対応方針
19	浦和	区の特徴	マンションが増えて子供たちが多くなってきたのは嬉しいが、狭い土地にマンションが多く建設され、日照の問題が出てきた。また、外国人が増えてきたので、地域とのかかわり方が課題となるのではないかと。	全区的な問題であり、分野別計画の「コミュニティ・人権・多文化共生」で記載される内容でもあるため、区の将来像・特徴としては、このままの記載としたい。
20	桜	区の将来像	市街化調整区域に指定されていることで、住宅が建てられず、人口が増えない状況になっている。その辺を考慮した上で区の将来像を考えてほしい。	市街化調整区域のあり方については、全市的な課題として庁内の関係部署にも共有する。 ※さいたま市のまちづくりの方向性として「コンパクト+ネットワーク型」の都市構造を進めることとしており、調整区域を開発していくという逆の方向性について総振に記載することは難しいため。
27	全体	—	今後、人口減少社会に突入していく中で、各地域において、極端に整理すると、人口を①増やす、②維持する（人口が減っても活気を維持する）、③なくす、のいずれかの選択をする必要が出てくる。それらの考え方の整理は都市マスにゆだねる部分もあるが、区ごとにどう対応するか、考え方を総振においても文言レベルで整理する必要性がありそう。	区レベルでのまちづくりの方針の記載については、都市マスで記載し、総振では全市レベルでの方向性であるコンパクト+ネットワーク型の都市構造について記載したいと考えている。
30	大宮区	—	大宮駅では新幹線と在来線を合わせると16路線あり、乗り入れ路線数は全国2位となるため、その点もアピールしたい。	鉄道や道路などのさいたま市の魅力（特徴）である交通利便性については、第1部の「さいたま市の魅力」や第2部の重点戦略の基になる情報として記載予定。

さいたま市総合振興計画審議会第3部会の意見整理表

②他部会の審議事項に関連する意見

No.	区	区の将来像 or 区の特徴	委員の意見	対応方針
33	全体	—	地下鉄7号線と合わせて地域公共交通の話がございます。東西交通に関して検討がなされているということで、10年先の計画を考える上では東西交通の話も取り上げる必要があると思います。	「9章 都市インフラ」 「第1節 人を呼び込み交流を促す都市インフラ」の「施策展開3 広域的な交通施策の推進」の中での記載を予定しております。

さいたま市総合振興計画審議会第3部会の意見整理表

③その他の意見

No.	区	区の将来像 or 区の特徴	委員の意見	対応方針
1	見沼	区の特徴	「綾瀬川流域は見沼田圃ではない」というのが意見の趣旨であり、事実を確認してほしい。	さいたま市では、見沼田圃基本計画に示す土地利用規制に基づくエリアを見沼田圃としているが、綾瀬川流域については、基本計画の対象エリアから外れているため、見沼田圃に含まれない。 現在の対応案では、綾瀬川が含まれているような記載になっているため、分かりやすい表現に変更する。
2	大宮	区の特徴	「特徴」の「東日本の玄関口としての交通の結節点」とあるが、「首都圏の業務核都市」を表現に加えたらどうか。 また、将来像でも同様の表現を加えてほしい。	「業務核都市」としては、合併前の大宮市と浦和市が指定されている。大宮区だけの記載ではないため、そのままの記載としたい。
3	大宮	区の将来像	①大栄橋の渋滞がひどく、駅前整備と併せて「東西方向の整備」にも対応してもらいたい。 ②「渋滞のない～」に「駅周辺の」を前置してほしい。 ③「自動車、自転車の～」に「高齢者等の」を前置してほしい	①については、大宮駅グランドセントラルステーション構想の「東西方向の道路ネットワーク強化・拡充」で対応することになるため、そのままの記載としたい。 ②駅周辺に限らない記載としたい ③幅広い世代を含んだ記載が望ましいため、そのままの記載としたい。
4	大宮	区の将来像	「やさしく、楽しみながら、安全安心…」としてほしい。	大宮駅周辺地域戦略ビジョンにも「初めて大宮を訪れる人も、大宮で働く人も、住む人も <u>楽しめる</u> まちをつくれます」とあるので「楽しめる」の文言を追加する。

さいたま市総合振興計画審議会第3部会の意見整理表

③その他の意見

No.	区	区の将来像 or 区の特徴	委員の意見	対応方針
5	西	区の特徴	①「コミュニティバスや乗合タクシーの運行により一定の改善が図られました」とあるが、区の端から端まで、特に桜区のコミュニティバスとのアクセスに関する記述を加えてほしい。 ②また、水害を防ぐための荒川の工事に関することも記載してほしい。	①については、今後も進める予定であり、「一層の充実が必要です」という既存の記載での対応としたい。御意見については所管局へも共有する。 ②国の事業で、計画中のものもあり、また、西区だけの記載ではないため、記載はしないこととしたい。
6	西	区の将来像	景観の保全や史跡の保存などのボランティアが高齢化に伴い減っている。後継者等、保存する人のためにも、地域の組織の形成・育成についても記載してほしい。	地域組織の形成・育成という視点として、ポイント2(7)に「仕組みづくり」の文言を追加する。
7	大宮	区の将来像	「利便性と機能性」は、同じような意味なので、「拠点性」など拡がりのある意味の言葉を用いた方がよい。	「利便性と機能性を兼ね備えた」を「拠点性を高めた」に変更する。
8	大宮	区の将来像	「大宮駅西口周辺」とあるが、東口も現在再開発が進んでいるので、「業務機能」という言葉を追加しても良いのでは。	大宮駅東口周辺の記載（ポイント1(3)）にも「業務機能の充実」についての文言を追加する。
10	全体	区の将来像	歩行者と自転車・自動車交通の記述に差があるので、各区の特徴に合わせて、記載した方がよい。	区の特徴データを踏まえた市民意見をもとに作成しているため、そのままの記載としたい。

さいたま市総合振興計画審議会第3部会の意見整理表

③その他の意見

No.	区	区の将来像 or 区の特徴	委員の意見	対応方針
11	全体	区の将来像	将来像をみた印象として、のっぺりしている。転入超過数をみても、将来的に高齢者は減り、若い人は増えていくものと考えられ、例えば、千葉市や西東京市に比べてよい状況。記載内容は変えなくてもよいが、他市との違いを出せるとよい。他にも「災害が少ない」「高速道路の状況もよい」などがある。 区それぞれによいところがある。事業所管者のためにも区の色を付けて、良いところを伝えるものであってほしい。北区は、高齢者が少ないが、子どもが多いので、「育成」に着目してもよいのでは。	区の特徴や市民意見を踏まえて、区の将来像は作成しているため、このままの記載としたい。北区で言えば、「育成」に着目すると、ポイント1(2)の「子育て環境の充実～健康で元気に暮らせるまちづくり」やポイント3(1)の「学校と～子どもを地域全体で育てる風土づくり」などの特徴について記載している。
14	全体	区の特徴	『健幸』とあるが、特徴は客観的事実を記載すべきで、「健康」を使わない理由を確認したい。	市で作成した造語であるため、使用する場合は、以下のとおり注釈を入れるなどして分かりやすい記載とする。 ※「健幸」とは… 身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、心豊かな生活を送れることを表す、市で作成した造語
15	岩槻	区の特徴	『都市基盤の整備が追い付いていない面があり、公共下水道の整備、子どもや高齢者、障害者でも安心して歩ける生活道路や』とあるが、追い付いていないのは「調整区域」のためである。市域の20～30%の市街化区域を基に記載すべき。	調整区域の基盤整備も包含した表現として、そのままの記載としたい。
16	岩槻	区の特徴	人口が減っている。小中学校の廃校もあり得る状況になっている。10年後の特徴にこの状況を加えて対応を考えていてもらいたい。	人口減少の対応として、「交流人口・定住人口の増加」の文言を追加する。

さいたま市総合振興計画審議会第3部会の意見整理表

③その他の意見

No.	区	区の将来像 or 区の特徴	委員の意見	対応方針
17	北	区の特徴	「国道17号線、国道16号東大宮バイパス、産業道路など広域幹線道路が整備された交通利便性の高い地区」とあるが、東西方向の道路は寸断されたままで、以前、道路計画があったが計画中止になり、踏切も多いなど、交通面でまだ問題がある。	貴重な御意見として関係部署に共有する。
18	北	区の将来像	安全安心とあるが、警察署が移転して不安である。警察署の設置を県に聞くと難しいとのことだが、整備計画を立ててほしい。	貴重な御意見として関係部署に共有する。
22	中央	—	中央区は、旧与野市時代に概ねすべてのものができている。しかし最近では、ベッドタウン化としてマンションが多くなっており、自治会に入らないケースが多い。	No.21と同様の対応としたい。
23	全体	—	区ごとに問題の大小がある。岩槻区、桜区は人口減が課題、浦和区、大宮区は人口増に伴う問題。それをどういう風にしていくか市全体として取り組む必要があるのではないか。	貴重な御意見として関係部署に共有する。
24	桜	—	桜区に住んでいるが、高齢者が多い。地元で子供のころから住んでいる人がいなくなっている。農業の2代目問題は、小規模農地で、費用が高いのが要因。	貴重な御意見として関係部署に共有する。
25	全体	区の特徴	「産業」のカテゴリがある区と、ない区がある。 区の特徴が整理されている上で、各区の特徴を議論することを考えると5区で「産業」テーマが議論されないと困るので、その意図を知りたい。	産業カテゴリのなかった5区（西区、見沼区、中央区、桜区、南区）についても産業のカテゴリを設定。

さいたま市総合振興計画審議会第3部会の意見整理表

③その他の意見

No.	区	区の将来像 or 区の特徴	委員の意見	対応方針
26	大宮	—	大宮駅周辺では、GCSプラン骨子案が6月に公表されるなど動きがあるので、これらの取組についても追記してほしい。	現状でも、大宮区の将来像及び特性について、基本計画レベルではGCS構想に基づく駅周辺街区のまちづくりについて記載しております。なお、GCSの取組については市のホームページ等で広報しております。
29	全体	—	区ごとに課題は異なるが、「区の特徴」等には課題の欄がないので、「分野別計画」において区の課題を追記してほしい。	「区の特徴」の中で、各カテゴリに課題を記載している。
31	岩槻区	区の特徴	地下鉄7号線延伸が実現された場合を加味した上での「期待されている」という表現ではなく、「課題です」「取り組む必要があります」「まとめられています」に変更した方がよいのではないのでしょうか。	地下鉄7号線延伸の実現に向け、地域の魅力を高め、定住人口・交流人口を増加させるための計画などについて「取り組んでいる」という主体的な記載に修正しました。

さいたま市総合振興計画審議会第3部会の意見整理表

④対応を検討中の意見

No.	区	区の将来像 or 区の特徴	委員の意見	対応方針
9	大宮	区の将来像	安心して歩き集えるような街づくりなど、歩行者の視点を加えてほしい。	歩行者の視点については、分野別計画の中で示す予定のため、そのままの記載としたい。
12	全体	区の特徴	①区マップが市の将来都市構造と対応して見られるようになっているか ②区マップに東西連携軸、南北都市軸、拠点、緑のシンボル軸などについて図示に工夫の余地がある	都心・副都心や軸などの要素については将来都市構造で図示しているが、具体的なエリアが決まっていないため、市全域より詳細な区マップでそれらを図示するのは難しいと考えます。よって、以下の2案いずれかでの対応を検討しています。 【案1】区マップでは将来都市構造とは目的を分け、区の特徴を示すものとして図示する（緑のシンボル軸は図示） 【案2】区マップの抽象度を上げてエリアが特定できないレベルで都市構造の要素を図示する。
32	全体	—	市街化調整区域の問題が議論されておりますが、市街化調整区域も都市計画区域になります。諸問題の中で、休耕地が急加速で増えています。加速度的に増えている休耕地についてより深刻な問題として捉え解決策を記載した方がよいと思います。	休耕地などの農業の問題については、分野別計画の「産業・経済」の中での施策展開「持続可能な農業の確立」の中での記載を予定しております。